



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
佐脇 功

皆様方には、ご清祥のことと存じ
お慶び申し上げます。

熊本県、大分県の地震によって被
災された方々に心からお見舞い申し
上げます。

高田学苑は真宗高田派専修寺の宗
門立学校であります。真宗高田派第
二十五世伝灯奉告法会が三月に厳修
されました。親鸞聖人のみ教えを第
二十四世法主殿から第二十五世法主
殿へ継承されたことを阿弥陀如来様



ご挨拶
学苑長
高臣 文祥

同窓の皆さんにはますますご健勝
にて各方面でご活躍のこととお喜び
申し上げます。

この度の熊本大震災に對しまして
被災者の方々に心からお見舞い申し
上げるとともに、未だ道半ばの東北
の被災地とともに一日も早い復興が
なされますことをお祈り申し上げます

と御開山聖人に奉告する法会で真宗
高田派にとつて大きな慶びである
とともに高田学苑並びに樹心同窓会
も同様に慶祝の至りであります。同
三月、一光三尊佛御帰山法会が営ま
れました。一光三尊佛は親鸞聖人が
自ら善光寺からお迎えされ、親しく
御恭敬された尊像であり、真宗高田
派の御本尊であります。二年間のご
逗留を終え法会の後、高田の本寺へ
お帰りになされました。本年は真宗
高田派にとつて最大の慶祝行事が執
り行われた節目の年であります。

三重県においては、五月二十六日
（二十七日にG7サミット）（伊勢
志摩サミット）が志摩市で開催され
ました。四月は、桑名市でジュニア
サミットが開かれました。新聞報道
によれば「次世代につなぐ地球環境
と持続可能な社会」をメインテー
マとし、気候変動、経済格差、人材
育成、ジェンダー（社会的性差）の
各論ごとに課題と解決策、G7首
脳への提言を文書で発表した。ジュ
ニアサミット会場には隣接するス
ペースで桑名市が主催する「桑名版
ジュニアサミット」（市内外の高校
生四十人と三重大学に留学している
十一カ国二十八人が参加）が開かれ
た。閉会式で参加者は「文化的な多
様性を理解し、地域に根ざし、世界
へ通用するグローバル人材となる」
との宣言文を朗読した。参加者であ
る高田高校二年生の岡田奈々さんは
「時間が短く、まとめるのが難し
かったが、外国の人たちと英語で理
解し合えて楽しく過ごせた」と話し
ていることを新聞で知りました。母
校の後輩の在校生が、このように活
躍されていることに感激しました。

高田学苑で学び、「世界へ通用する
グローバル人材となる」同窓生が輩
出し、活躍されることを願いました
きましては学長、校長から報告いた
します。

熊本地震は余震が連日、発生し
ています。内陸型の比較的浅いと
ころで発生した直下型地震で振動周
期から多くの木造住宅が崩壊する災
害となりました。私が経験した最大
の地震活動は高田中学校一年生の昭
和十九年十二月七日発生の東南海地
震です。木造校舎で日本史の授業中
で驚きと不安で騒々しい状況となり
先生から静かに冷静に避難の指示が
あります。

あり運動場へ出ました。当時は第二
次世界大戦中で報道管制のなかに新聞
には殆ど記載されなかったと思いま
す。今、思えば直下型地震でなく
深い海底での発生のため木造校舎に
被害はなかったようです。近江（現
滋賀県）の皆様が神宮へ奉獻された
学校近くの旧伊勢別街道随一の大き
な窪田常夜灯の上部が転落した。そ
の後、大里窪田町住民で修復した。そ
の後の校舎は、全て耐震構造で安全
性が保障されています。素晴らしい
デザインと併せて居住性に優れた校
舎が構築されています。文武両道の
教育がより一層、具現され新たな伝
統が積み重ねられるよう祈念いたし
ます。



ご挨拶と報告

中高校長
梅林 久高

同窓の皆様におかれましては健康で活躍のこととお喜び申しあげます。日頃は本校の発展にご理解とご支援を賜っていることに感謝申し上げます。

この三月には卒業生569名(三年生374名、六年生195名)がさらなる自己実現を目指して飛翔して行きました。四月には新入生の中一189名、高一422名、四年生193名を迎え、在校生合わせて2341名、63クラスでスタートし伸び伸びと洗刺と学業にクラブにと打ち込んでいます。全体で男女比はほぼ等しく、男子が145名ほど多くいます。高校入学式で生徒会長の橋本有矢君が「高田高校は先生と生徒の距離が近い」と新入生にアピール。この一言が今の高田を表わしていると感じました。少子化による生徒の減少が加速化する中で今年の高校生の受験生がピークでした



ご挨拶と報告

短大学長
栗原 廣海

同窓会会員の皆さま、こんにちは。ご壮健にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃の本学の教育に対するご理解、ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

が、生徒募集数より多くの生徒が入学してきてくれました。仏教、親鸞聖人のみ教えに導かれ、人生で大切なこの時期を高田で過ごすことのご縁と、自己の無限の可能性を信じて日々心身ともに豊かに育つてくれることと強く願っています。

昨年の就職、進学状況、部活動やその他の分野でも好成績を上げていますので、詳細な内容や結果などは会報の記事をご高覧ください。部活動では、運動部文化部合わせて中学は28部、高校は48部があり、同窓会設置の「全国出場クラブ激励金」を多くのクラブが頂戴しています。嬉しい活躍の反面、顧問や遠征費の確保に苦慮しています。

昨今の教育状況や生徒の活動についてご報告させていただきます。今後の最大の課題は少子化による生徒数が激減のため、募集の確保が喫緊の課題です。県立の授業料無償化や公立志向等の影響を受けますが、誰でもが学べる学校でありたいとの思いから設けた本校独自の授業料等生納付金助成制度も順調に運用されています。

そして、学力、精神両面をいかに育て深め、高めて行くかが肝要であり

本年三月の卒業生も、例年どおりほぼ全員が就職を果たすことができました。中でも、こども学科から現役学生十二名が、またキャリアア育成学科からも一名が公務員試験に合格し、幼稚園教諭・保育士・事務職員として就職できましたことは、学生支援における大きな成果であったと思います。

りキャリア教育や学習合宿、補習などを積極的にを行い、進学進路の出口の成果に繋がることを目標、方針としたいと思えます。特にキャリア教育では諸分野で活躍されてみえる卒業生を講師にお招きしています。昨年は辻製油株式会社(松阪市嬉野)の会長の辻保彦様をお招きし、パイオを利用した製品開発に取り組みんで来られたご苦労や夢を持つことの重さを語っていただき、生徒に感動を与えていただきました。G7伊勢志摩サミットで外務省広報課長の森川徹様(六年制十八期昭和62年卒)はその諸準備、開催にあたりその重責を果たされました。ジュニア・サミット案内で松井千紘さんが活躍し、外国語ボランティアには職員は2名、生徒5名が活躍し、国際理解を深める貴重な体験をしました。サミットを踏まえてこれからの国際社会での日本のあり方などについて講演の機会を増やしていきたいと考えています。

また、昨今の教育現場では、アクティブラーニング型の授業の導入やICT教材による授業が実施されていますので、本校でもその導入、利用が一層急がれますのでその検討会を立ち上げて進めているところですが、しかしながら、教育は教師がいかに子供たちの表情や心情を観察し、生徒との心のつながりが重要です。究極は教員の資質向上に尽きると思えます。教職員のスキルアップが最重要であるとの自覚のもと、自己研鑽に一層精進し、生徒の目線にたち魅力ある指導を展開することを目指すところでです。

一方、保護者会・学校外部評価委員会の皆様に学校評価アンケートのご協力を頂いたり、生徒からの授業満足度調査の結果を検証し、その意見を反映・活用し改善に取り組みしているところです。

先生方の取り組みの一端が子供たちの自主的な活動に現れてきています。中学では東日本大震災3・11を風化させないことと犠牲になられた方々への哀悼を込めて、復興支援ソングの「花は咲く」を英語で合唱を行いました。中三の生徒が後輩を見事に指導し、中学全員の合唱となり、その願いを伝えてくれました。

また、職員室のイメージに変化があります。大きな職員室の中央通路が、同時に生徒の質問や相談場所として機能しています。引っぱりなし

に生徒が質問や提出物を届けに来ます。生徒の表情も明るく、先生も丁寧に指導され、本当に微笑ましい光景です。

中高生徒会活動もその一つです。特に高校生徒会では生徒達を中心とより積極的に四つの委員会を運営してくれています。生活委員会のあいさつ運動、環境委員会のエコキヤップ、学校周辺、一身田寺内町清掃、安全推進委員会の地震など防災に対する講習会実施、交通安全対策、企画委員会による学校行事の運営などを展開しています。環境委員会では上田啓瑚君のユニークな発想の提案で、おばあちゃんの知恵を借りて手のひら大のゴミ拾いケイス用を全校生徒分作って、足元のゴミに目を向けるきっかけにしようという目下ゴミ袋ケイスを制作中です。可愛い携帯用のゴミ袋に祖母との温かいつながりが一杯詰まっており、その運動が広がろうとしています。

喫緊の課題は様々ありますが、無限の可能性をもつ大切な子供たちを丁寧に育て行くには家庭と学校と地域との緊密な連携が不可欠です。今後とも一層のご支援を頂ければ幸いです。

さて昨年度、本学では、学科コースの専門科目を学ぶ上で基礎となる広い教養を涵養すべく、「共通教養科目」を設置しましたが、本年はその中の一科目として初年次教育の充実のため、「スタートアップゼミナール」を新たに設置しました。このゼミナールは、授業の内容は各学科コースで異なりますが、テーマは「大学での学びの基本的な姿勢やスキル、社会的なルールやマナーなどを身につけること」で、短大生として主体的

樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

●ありがとうございます●

(卒業年度順)

Table listing members and their graduation years, organized in three columns. Includes names like 横山奈央子, 武部良吉, etc.

「高大接続システム改革会議」が本年三月三十一日、「最終報告」を

公表しました。テーマは、これまでの知識・技能の修得を中心としたこ

のためのPDCAサイクルを確立することです。そして同日付で作成さ

入学生の能力のアセスメントとそれに基づく初年次教育、学修成果



協 賛 企 業 一 覧

(五十音順)

Table listing sponsors and their names, organized in two columns. Includes 愛知 (株), アインズ (株), etc.

平成28年度 高田学苑樹心同窓会総会. 平成28年8月7日(日) 午後3時~6時. 総会: ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内) 6階 中宴会場. 懇親会: ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内) 6階 大宴会場 (伊勢の間・安濃の間).

新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

中・高等学校

一、安孫子 玄
 二、英語
 三、硬式テニス部
 四、ゴルフ・写真・旅行
 五、本年度より高田学苑でお世話になっております。昨年度まで、他県の公立高校の教員をしておりましたが、ご縁あって歴史と伝統のある本校に勤務させて頂くことになりました。また、着任して数ヶ月が経ちますが、素直で活発な生徒と学び合い、かつ、様々なことに「熱い」先生方と共に働けることを嬉しく思っています。

毎朝、私は西門から学校に入りますが、校舎一号館の壁面部分に「貫綜樓練(かんそうるれん)」と大きく標語が掲げられてあります。「徹底的に学び、通達すること」という意味であると梅林校長先生に教わりました。これは生徒に説くべき学びの精神ではありませんが、同様に、私自身高田学苑の教壇に立つ者として、常に自覚し、ぶれない軸として持ち続けなければならぬ教えだと感じています。これまでの経験や学びを生かしながら生徒の英語力向上に日々邁進することはもちろんですが、生徒に

寄り添いながらも、時には厳しく、本当に大事なことは何か、と問い続けることを忘れず、新たに教員生活を送っていきたくと考えております。今後ともよろしくお願ひ致します。

- 一、古田 正男
- 二、保健体育
- 三、柔道部
- 四、ゴルフ
- 五、本年度より高田学苑でお世話になっております。真面目な生徒達と熱心で丁寧な指導をされている先生方と接していて、身の引き締まる思いで毎日過ごしています。

私は、女子柔道部を本格的に立ち上げたいと考えています。男子につきましてもは伝統と実績がありますが、女子については、本年度より本格的な活動となります。現在、高校一年生三名と中学生三年生一名の四名で活動しています。先日、県高等学校の柔道団体試合があり、初陣を飾ることができました。近い将来、三重県での団体優勝を目指して生徒と共に努力していきます。卒業生の皆様には優秀な選手の紹介と応援をよろしくお願ひ申し上げます。

微力ながら、生徒の皆さんの役に立てるよう努めて参ります。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

- 一、清水 ゆか
- 二、ありません
- 三、ありません
- 四、旅行
- 五、本年度より、非常勤のカウンセラーとしてお世話になっております。歴史と伝統のある高田学苑で

勤務することができるとの機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

どれくらい前でしょうか、本山参詣の道中「安穩」という文字が目に見え込んできました。なんて素敵な言葉でしょう。言葉の意味と同時に「あんのん」という言葉の響きが、波紋のように私の心の中に広がっていきました。今でも鮮明に覚えています。これから学苑生活で出会う方々が、「安穩」な時間を過ごすことができますよう微力ながらサポートしていく所存でございます。至らぬことも多くご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

- 一、多賀 善彦
- 二、中高事務所 庶務課
- 三、中・高陸上競技部
- 四、野球観戦、旅行
- 五、本年度、四月一日付けで高田中・高等学校の事務所でのお世話になっております。自身の母校であり、憧れであった高田学苑の職員に採用して頂き、有難く感じると共に、歴史と伝統ある本学苑の為に尽力したいという強い思いに駆られています。事務所で働き始めて、一ヶ月ほど経ち徐々にではありますが仕事が仕事に慣れて参りました。これもひとえに温かく迎えて下さった事務所の皆様、先生方のお陰だと思っております。庶務課の仕事はデスクワークだけでなく、備品の修繕など多種多様であります。早く皆さんのお力になれる様、日々精進して参りますので、何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

- 一、中村 琳
- 二、保健体育
- 三、中・高陸上競技部
- 四、スポーツ観戦
- 五、本年度より、高田学苑でお世話になっております。歴史と伝統のある高田学苑で体育教師という夢を叶えられることができ、大変嬉しく思っております。大学を卒業し、縁あって本学苑に勤務させて頂くことになりました。教師としての経験が少ない分、生徒と同じように私自身も勉強の毎日です。自分の未熟さを痛感する日々ですが、授業や部活動などを通じて、本学苑で教師として成長していきたいと思っております。中学・高校時代は心も体も大きく成長し、不安定な時期です。その中で、生徒が青春を一杯謳歌できるように、また将来のバックアップができるように、学力面だけでなく人間教育の面での指導にも努めていきたいと思っております。まだまだ未熟ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

五、本年度より、母校である本学苑で事務職員としてお世話になることになりました。

在学中にお世話になった教職員の方々と一緒に働かせて頂くことができ、大変嬉しく思っています。着任して二ヶ月が過ぎようとしています。学生のときには気づくことのできなかった教職員の皆様の努力や、様々な支えに深く感謝しながら、楽しく新鮮な毎日を送っています。

まだまだ至らぬ所が多く、未熟者ではありますが、少しでも学苑のお役に立てるよう精一杯努力して参りますので、今後ともご指導の程よろしくお願ひいたします。

- 一、濱西 純平
- 二、数学
- 三、バドミントン部
- 四、海外サッカー鑑賞
- 五、本年度より高田学苑でお世話になることになりました。ずっと夢見ていた、母校の教壇に立つという機会をいただいたことに感謝しています。着任してから数ヶ月がたちましたが、毎日が試行錯誤の連続です。教育というのは教科指導だけではなく、日常生活、部活動も含めてやっていかなければならないことだと痛感しました。同時に、未来ある生徒たちに関わることでできる喜びややりがいを感じています。これから生徒一人一人を支えていける教師を目指していきたく思います。教師としてまだまだ未熟ですが、日々精進し、成長していきたく思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

- 一、古木 文仁
- 二、英語
- 三、ソフトボール部
- 四、ギター、旅行
- 五、本年度から高田学苑でお世話になることになりました。中学生の頃からの夢であった教職に就くことができ、また長きにわたる歴史と伝統ある高田学苑の教壇に立つ機会を頂き大変嬉しく光栄に思います。

着任しては数ヶ月が経ちましたが、元気で明るい生徒たちや親切な先生方に囲まれ新鮮で充実した毎日を送っています。しかしその反面、まだまだ未熟なもので毎日が失敗、反省の繰り返しであることも事実です。その度に多くのことを吸収しながら真摯に生徒たちと向き合い、これからも教員として学習し成長していきたく思います。

五、本年度から高田学苑でお世話になることになりました。中学生の頃からの夢であった教職に就くことができ、また長きにわたる歴史と伝統ある高田学苑の教壇に立つ機会を頂き大変嬉しく光栄に思います。

着任しては数ヶ月が経ちましたが、元気で明るい生徒たちや親切な先生方に囲まれ新鮮で充実した毎日を送っています。しかしその反面、まだまだ未熟なもので毎日が失敗、反省の繰り返しであることも事実です。その度に多くのことを吸収しながら真摯に生徒たちと向き合い、これからも教員として学習し成長していきたく思います。

至らない点も多々見られるとは思いますが、精一杯頑張りますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

一、丸山 亮子

二、音楽

三、なし

四、家庭菜園、猫

五、本年度より非常勤講師としてお世話になっています。

歴史と伝統ある高田学苑で指導にあたる機会をいただきましたこと、心より感謝しています。同時に、新採同様ですが年齢は長けていますので、自身の一つひとつの言動に大変責任を感じています。

私自身、幼少の頃よりずっと音楽と苦楽を共に過ごして参りました。その中でたくさんの方との出会いがあり、支えられ、励まされてきました。まさに一期一会であり私の宝となっています。この経験を生かし、今、勉強や人間関係など、様々な悩みを抱えているであろう生徒達の支えになれるよう、一期一会の精神をもって関わっていきたくと思っています。

至らない点も多々ありご迷惑をおかけしますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

一、Ryall, Chris ライオル、クリス

二、English 英語

三、English club 英語部

四、Writing, Apple Mac, Reading, Listening to Music, Watching Movies, Sports

著作、アップル・マック、読書、音楽鑑賞、映画巡り、いろいろなスポーツ

五、本年度より高田学苑にてお世話になっております。長い歴史と伝統的な学校で働くことを大変嬉しく思っています。オーストラリアのグリフィス大学に教育を勉強しました。卒業した時に、奨学金を貰って、東京の成蹊大学に一年間で交換留学生になりました。

卒業後に大阪、岐阜、静岡、愛知にも住んだことがあります。大阪に引越して、久保中学校と大江中学校で働きました。今まで二十一年間で日本に住んでいました。日本の文化と歴史が好きで、日本について小説を書きました。今、出版するために準備をしています。高田高等学校にも興味を持っていましたから、私の作家のインターネットウェブサイトが高田学苑について記事を書きました。本校の校訓は「言行忠信表裏相応」が大切な言葉で、素晴らしい哲学だと思います。

http://www.cjryall.com

close-up/takada-high-school

高田学苑でクリケット部があったり、感動しました。私の好きなスポーツはクリケットや空手やテニスやゴルフなんです。私の希望は高田学苑で働きながら文化を交換することが出来ることです。

これから、一所懸命に仕事をし、頑張りたいと思います。ご迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

短大

一、秋津 修

二、なし

三、バレーボール部

四、歴史・映画鑑賞

五、津商業高校で十八年間、そして

昨年一年間名古屋産業大学で保健体育および教職課程の授業とバレーボール部の指導をし、本年四月より高田短期大学にお世話になっております。現在部員は九名の少数ですが、しかも二年間での戦いになります。ハンデを逆に力に変えられる逞しい精神力で、東海リーグ制覇を目指していきたいと思えます。また、バレーボールを通じて人間性の向上を指導理念とし、大学の活性化と地域貢献に尽力したいと思っております。

一、岩間 知之

二、キャリア支援センター

三、なし

四、映画鑑賞、卓球

五、四月、瑞々しい萌黄色の山々に包まれた白山ビレッジで行われた短期大学の宿泊研修では、新入生の皆さんの明るく元気な声に、やる気を感じさせていただきました。

キャリア支援センターでは、日々、まさに就職戦線に挑んでいる二年生の皆さんの真剣なまなざしに圧倒されています。三月末まで勤務していた四日市高校とはまた違った緊張感のなか、高田学苑の一員として少しでも学生のみなさんの力になれればと存じます。人生は「一期一会」と言います。お一人お一人との出会いを大切にしたいです。

http://www.cjryall.com

一、小田 富彦

二、キャリア支援センター

三、なし

四、音楽・映画鑑賞、読書

五、本年度より、キャリアサポーターとして学生の皆さんの就職活動の支援をさせて頂くことになりました。これまで営利を目的とする民間企業に勤めてきましたが、何かのご縁で、教育・研究を遂行する

場で働く機会を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。まだ着任して僅かですが、学生の皆さんの就職活動に対する不安な気持ちやひしひしと伝わってきます。責任の重い仕事ですが、これまでの経験を活かし、親身になってサポートしていきます。そして、学生の皆さんが日々成長していく姿を見守っていきます。また、学苑の教職員の皆様との出会いを大切に、自分もたくさん学べるよう精進する所存です。よろしく申し上げます。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

短期大学でも仏教の授業をする事になりました。高田学苑の建学の精神は、親鸞聖人のお心に生きることです。そして、その親鸞聖人は、「心を弘誓の仏地に樹(た)て」と仰っておられます。「弘誓の仏地」とは阿弥陀さまの願いの世界であり、その願いに感動して親鸞聖人は生きられました。私も引き続き、建学の精神が息づく高田学苑で、親鸞聖人のお心に学ばせていただきたいと念じております。

一、武藤 敦士

二、社会的養護、社会的養護内容、施設実習指導ほか

三、なし

四、子どもと一緒に、川へ魚を捕りに行ったり、山にスキーに行ったりしています。

五、本年度より子ども学科助教として、社会福祉系科目の講義のほか、ゼミナールや保育実習における社会福祉施設実習を担当しております。

高田短期大学は家内の親族も多く卒業しているなじみのある学校ですので、専任教員として教育と研究に携わる機会を与えていただいたことを感謝しております。今後は諸先生方のご指導を仰ぎながら、これまでの児童福祉現場での経験や蓄積してきた研究成果を学生に還元できるように、日々努めていきたいと思っております。至らぬ点も多々あるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

進路指導

高校進路指導部

中・高部活動

平成27年度生は、三年制I類217名、II類209名の合計426名、6年制188名が卒業しました。平成28年度入試の合格者数および就職決定先を既卒者を含めまとめましたので、ご報告します。今後とも同窓会会員の皆様のご声援よろしくお願いたします。

進路状況
平成28年度入試の全体・3年制・6年制の進学結果は、次の通りです。

Table with columns for year type (4-year, 6-year), school type (public/private), and enrollment status (current/graduate), with sub-columns for categories I and II. Total enrollment is 1182.

○三年制

Table listing university graduates for the 3-year program, including names of universities and the number of graduates from each.

○六年制

Table listing university graduates for the 6-year program, including names of universities and the number of graduates from each.

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of qualified students from 2014 to 2018 across various categories like graduates, public/private universities, and vocational schools.

本年度は三重大大学の7名をはじめとして、28名の生徒が国公立大学に合格し、過去5年間で最多となりました。また、中京圏の私立大学にも多くの生徒が合格、進学しております。

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of qualified students from 2014 to 2018, broken down by school type (graduate, public/private, private) and department (medicine, etc.).

過去5年間で最も卒業生数の少ない学年でしたが、東京大学12名、名古屋大学10名など、今年も難関大学に多くの生徒が合格してくれました。私立大学の合格者数が減少していますが、受験生の国公立大学志向の高さと、受験校の厳選が原因と分析しています。

■中・高柔道部

平成二十八年度部員数
中学生 3年生 男子2名 女子1名
高校生 1年生 男子2名 2年生 男子8名 3年生 男子2名 1年生 男子8名 女子3名
計24名
最近の諸大会成績(上位入賞のみ)
中学生の部
津市春季総体
男子個人60kg級
優勝 3年 別所幹太
女子個人
優勝 3年 飯田美緑
三重県中学生体育別選手権
女子個人
準優勝 3年 飯田美緑
高校生の部
三重県高校柔道新人大会
男子団体 5位
男子個人
無差別級 3位
66kg級5位 3年 藤 大崇
73kg級5位 3年 小野 旭
81kg級5位 2年 下倉 史也
81kg級5位 3年 齋藤 翔
81kg級5位 3年 市橋 慈英
三重県高校柔道選手権大会
男子団体 6位
三重県高校総体柔道競技
男子団体 5位
男子個人
60kg級 5位 3年 寺本 有希
66kg級 5位

■中・高剣道部

『誰にでもできることを誰にも負けないくらいやる』ことが大切
ある剣道家が全日本剣道選手権大会で優勝したときの言葉です。剣道の修行の様々な場面で、自分自身やチームを振り返るときに原点となった言葉です。簡単なことのように、『誰にでもできることを誰にも負けないくらい』ということに対して自分自身の物差しを信じて取り組むことは本当に難しいということを実感させられました。高校生にとつて、この一年はなかなか結果につながらず、苦しい一年でした。また、怪我也多くなかなか追い込んで稽古することができず、八方ふさがりになっていかもしれません。それでも、生徒は一生懸命頑張ったと思います。最後、今まで温かく見守って頂いた保護者の方にもっともって頑張る姿を見てもらいたかった。反省は尽きませんが、三年生には堂々と高校剣道を終えてほしいという気持ちと、人生において沢山の『勝ち』をつかむために、残りの高校生活を『誰にでもできることを誰にも負けないくらいやる』努力を続けられるよう、顧問一同、全力でサポートし

ていきたいと思っています。

中学生は、津市中学校春季総合体育大会において男子団体戦で準優勝することができました。ただ、お互いに厳しさが足りず、またそれに甘え、思いやりに欠ける行動をとってしまおうという思春期全開の生徒たちと格闘中です。剣道を通して、思いやりを持って、素直に力強く努力し、お互いに成長できるように日々一生懸命稽古に励みたいと思います。
卒業生の皆さん、いつも温かい声援と、沢山の差し入れ、そして厳しく愛情あふれる稽古をありがとうございます。剣道を通してこれからも末永くよろしくお願いいたします。

■中・高馬術部

馬術は、馬と人間が力を合わせて競技するスポーツです。今年度から三重県高等学校体育連盟に正式加盟をさせていただきました。それにより、県総体での正式採用が決まりました。三重県内の高校生だけの大会が行われるようになるところは高校間の交流を深めることができます。そして、馬術競技の発展にもつながっていきなさいです。五月二十九日に行われた県総体団体戦において、高田高校は初優勝を飾ることができました。この大会を通して、昨年度果たせなかった全国大会出場へのはすみをつけていきたいと考えています。

昨年度は、総減点三十二で完敗し、全国大会出場の機会を逃すという結果となりました。結果を真摯に受け止め、その反省を次に活かさなければ、次の試合も同じ結果になりかねないと考えています。「勝利に際しては謙虚に振る舞い、敗北時には素直に負けを認め、相手に敬意を払うことが求められるグッドルーザーであることが求められます。スポーツに関わる以上、負けを味わうことは避けられません。負けをどう捉えるかが大切であり、負けた時の態度こそが

大切ですよ。一年間この思いを胸に刻んで練習に励んできました。今年こそは全国大会への出場を決めていきたいです。

今年度は新入生を迎え、中・高合わせて総部員数が三十名となりました。馬術というスポーツをより楽しむために、正々堂々とプレーできる選手であると同時に、顧問一同、学校生活でのフェアプレーを心から望みます。

■中・高箏曲部

箏曲部は現在、高校Ⅱ年生七名、高校Ⅰ年生十名、中学三年生十名、中学一年生十六名の計四十三名で活動しています。月曜日から金曜日の放課後に練習があり、水曜日と金曜日には外部の先生に指導していただいています。今年度は新入部員が多数入り、より力を合わせて演奏できるよう毎日練習に励んでいます。

昨年度の夏には、三重県高等学校日本音楽演奏会にて、第三位に入賞しました。高校一年生にとっては、この演奏会が初めての大舞台で、不安と緊張、そして期待を抱きながら、演奏会まで毎日練習しました。練習ではなかなか思い通りに弾けないことも多く、焦りを感じたこともありました。そんなときは先輩が優しく教えてくださり、時には同学年の部員同士で励まし合いながら、心一つにして演奏会を目指して頑張りました。

箏曲部には、優しく気さくに接してくれる先輩や困ったことや分からないことを気軽に相談できる先生、そして互いに学校生活のいろいろな話を語り合い、助け合える仲間がいます。そんな和やかな雰囲気の中、部員一同力を合わせ、夏の演奏会に向けて頑張って練習していきたいと思っています。

■中・高文芸部

文芸部は、高校文芸部員二十名と中学文芸部員十四名とが一緒に活動しています。

高校文芸部は、昨年第三十八回全国高等学校総合文化祭滋賀大会に、詩部門、短歌部門、俳句部門の三部門で県代表に選ばれて参加しました。また、第十回全国高校生短歌大会(盛岡短歌甲子園)に出場し、予選リーグを突破して決勝トーナメントに出場するなど、短歌における実力も伸ばしてきました。さらに初めて応募した部誌甲子園で『零改其の漆』が奨励賞を受賞し、作品に対して高い評価を得ました。第三十回全国高校文芸コンクールにおいては、部員の作品が小説部門と俳句部門で優良賞を受賞、短歌部門で入選という快挙をなし遂げました。今年度は、第四十回全国高等学校総合文化祭広島大会の詩部門と短歌部門に出場します。

また、昨年は『木馬』七十号記念として、卒業生の方から『木馬』にまつわる思い出やエピソードをいただき、文芸部員は『七十』を題材にした作品を書いたり掲載するなど、まさに「記念」となる七十号を発刊することができました。

解決してきました。

平日放課後も土日も練習は毎日休みなく、きびしい練習の合間に雑談したりと楽しさがあって、明るく仲の良い部活です。

また、年に1、2回外部から先生を招いて新たな練習方法や技術を学び刺激を受け、自分たちでも研究したりと常に強くなろうとしています。その努力のおかげで、秋の市民戦Aチーム準優勝Bチーム優勝、春季中体連優勝、津支部春季大会準優勝県大会出場、春の県大会個人戦に3ベア出場などの成績を収めることが出来ました。これに満足せず、夏の大会でより上の結果を目指して努力を続けていきたいです。

先輩方におかれましてはお忙しい毎日とは存じますが、ぜひ思い出の「本山コート」にお立ち寄り下さい。先輩からの大会でのお話やアドバイスを、副キャプテン 玉分彦彦

■女子ソフトテニス部

現在、3年生十四人、2年生十人、1年生七人の合計三十一人で活動しています。今年度は1年生が少なくなってしまうかもしれません。しかし、2年生は一生懸命に1年生に素振りの仕方やラダーなどのトレーニングを教えています。3年生は夏の試合に向けて、緊張感が日に日に増して、熱心に練習に励んでいます。

地域の方々に進んで挨拶ができ、元気で明るくとも雰囲気の良いチームです。笑顔の溢れる楽しい練習風景を、機会があれば是非ご覧いただきたいと思っています。

部長 近藤実優

■中学陸上部

中学陸上競技部は、男子十八名、女子二十二名の計四十名で活動しております。今年度は一年生が十四名入部しました。そのほとんどが陸上競技未経験者ですが、上級生の指導を受け、日々練習に励んでおります。

練習では、主に長距離と短距離に分かれて、各パート長が中心となり決められたメニューに取り組みようにしております。その際は、個々人で別々の練習をするのではなく、パートごと一体となって取り組むよう心がけております。もちろん、学年や男女の違いにより走る速さは変わりますが、距離やペースを調整するなどの工夫をして、皆で励まし合いながら走ることが出来る環境を整えるようにしております。

また、大会に臨むにあたっては、部員それぞれが具体的な目標を設定するようにしております。自己ベストの更新を目指すのか、参加標準記録の突破を目指すのかなど、大会ごとの位置づけを明確にすることに、目標達成を意識し、部活動に励んでおります。

さらに、ルールの遵守や挨拶の徹底などを通し、人間性の育成にも努めております。連綿と続く中学陸上競技部の伝統を受け継ぎ、精進していく所存でありますので、同窓会員の皆様のご声援のほど、よろしくお願ひ致します。

■中学バスケットボール部

現在、男子21人(3年生3人・2年生8人・1年生10人)、女子19人(3年生4人・2年生4人・1年生11人)の計40人の部員と顧問3人(真岡康光・川口裕美子・武内見暁)で活動しています。

特に今年度は1年生の入部が多く、活気にあふれています。バスケットボールの技術を身に付けることはもちろん、チーム一丸となって勝利を目指すことを通じて、忍耐力や礼儀、相手を思いやる心を学んで欲しいと思っています。

ほとんどの部員が中学生になってからバスケットボールを始めましたが、目の前の一勝を勝ち取るために、日々練習に励んでいます。今年度も応援のほど、よろしくお願ひいたします。

クラブ成績表(中学校)

平成27年度分

Table with 3 columns: Category (卓球部, 個人表彰), Event Name, and Results (Award, Rank, Name, School).

Table with 3 columns: Category (柔道部, 剣道部, 馬術部, なぎなた部, ソフトテニス部), Event Name, and Results (Award, Rank, Name, School).

Table with 3 columns: Category (陸上部), Event Name, and Results (Award, Rank, Name, School).

■中学バレーボール部

私たち中学バレー部は、三年生が五人、二年生が八人、一年生が十三人の合計二十六人で、毎日元気に部活動をしています。

今年入部した一年生たちは、とても元気で何事にも興味を持ち、上達したい一心で部活に取り組んでいます。私たち二、三年生はその姿勢を見て「バレーをやりたい」という純粋な心、「上達したい」という向上心が大切だと改めて感じました。

私たちは、ほぼ全員が初心者ですが試合で勝つために練習しています。限られた時間の中で勝つためには、練習のポイントをしっかりおさえて部活することが重要です。毎日きちんと練習に取り組めば技術面は身に付き、成長していきます。

そして、もうひとつ大切なことがあります。それはメンタル面です。相手チームより技術が勝っていて心も強いと勝つことができませぬ。そして、今の高田中学バレー部の課題は心を強くすることです。心を強くするためには、日頃の学校生活や家での生活をきちんとすることも大切だと思います。すれ違ひひとに笑顔で元氣よく挨拶をすることや、提出物の期日を守ることなど、ルールを守ることもそのひとつです。自ら考え行動することで自分に自信を持つことができます。このことを心掛けて生活していきたいと思っています。

三年生最後の大会が七月下旬にあります。大会まで時間は多くはないので、真剣に練習に取り組んでいきたいです。この二年間で学んできたことを活かして悔いの残らない大会にしたいです。ボールを落とさず「想いを繋ぐ」ことを大切に、チーム一丸となつてがんばっていきます。

中学バレーボール部 主将

■中学サッカー部
こんにちは。中学サッカー部キャ

プテンの長松秀明です。現在三年生三人、二年生十二人、一年生十四人で活動しています。

僕たちは先輩がたくさんいたこともあり、昨年夏に新チームになるまではほとんど試合に出ていませんでした。そのため、新チームになつてからしばらくの間は、練習試合を行つても試合経験の少なさを露呈する日が続きました。新チームのスタートとしては、不安要素が目立つ状態だつたと思います。

そのような不安いっぱいの船出ではありましたが、夏の厳しい練習を乗り越え、チームとして徐々に結束し、雰囲気も良くなりつつありました。しかし、いくつものアクシデントがあつて、冬を迎える頃にチームの勢いは再び失速し、団体競技の難しさを感じました。

そんななか、昨年十二月には西グラウンドの北に人工芝のサッカーコートが完成、一月からは朝練や休日の練習で使用させてもらえるようになりました。人工芝のコートは65メートル×45メートルで普通のサッカーコートと半程度のサイズなのですが、僕たちにはミニゲームをするのにちょうどいいサイズでした。この新しいコートのおかげで悪くなくかけていたチームの雰囲気も一掃され、心機一転楽しく部活ができるようになりました。

今年四月には新一年生も加わつて大所帯となり、さらに僕たちのチームは勢いづきました。良い雰囲気のおかげで臨んだ春季中体連では残念ながら二回戦で敗退しましたが、一・二年生の涙を見てチームとしての結束を感じました。

僕たち三年生が引退するまでの残り一カ月半、このメンバーで少しでも長くプレーできるように、チーム一丸となつて夏の中体連を勝ち抜くために頑張つていきたいと思っています。これから応援よろしくお願いします。

■中学なぎなた部
現在十二名が所属し、高校生と一緒に稽古に励んでいます。昨年度は全国大会において入賞を目前にしなから、直前の試合で勝っていたチームに自滅する形で敗退してしまい、二年生主体のチームの若さが出た形になりました。本年は一年の経験と実績を積んで、自信を持つて全国優勝を狙えるチームになりました。七月に和歌山市で行われるJOCジュニアオリンピックカップ全国中学生なぎなた大会には、中尾桜子・長田梨奈・直田李穂・高林由珠の四名が出場します。表彰台の真ん中に立てるように頑張りたいと思います。(主な戦績)

- 平成二十七年全国中学生なぎなた大会(平成二十七年七月長崎市) 団体・女子個人・演技の部出場
- 平成二十七年東海なぎなた大会(平成二十七年十一月名古屋屋市) 三位 長田梨奈・四位 中尾桜子
- 五位 直田李穂
- 平成二十八年東海三重県なぎなた選手権大会
- 中学女子個人の部
- 二位 直田李穂・三位 長田梨奈
- 演技の部
- 二位 脇田 悦・直田李穂組
- 三位 高林由珠・長田梨奈組
- 第四回恒雄杯なぎなた大会(平成二十八年五月松原市)
- 中学女子団体 優勝 高田中学Aチーム(中尾桜子・長田梨奈・直田李穂)

■高校硬式野球部
私たち高田高校硬式野球部は、多くの方々に支えていただきながら日々活動しています。

新チーム結成後、春季大会、秋季大会ともに県大会出場を果たしました。春季大会地区予選では、もう負けることができなななかでも掴んだ

勝利から、県大会でも支えてもらっているすべての方々に、また毎回指導してくださる監督、部長先生方にまずは一点、そして勝利を捧げることを胸に挑みました。

ですが、持つている力を全て出しても県大会一勝という壁は大きく、「負け」という言葉がチームを襲いました。悔しい結果に涙を流しました。そして必ず、最後の夏では悔し涙は流さないことを決意しました。これまで、多くの試練があり、その中でも一勝をするたび、強く、大きく育ってきました。

それは、支えてくださる方々のおかげであり、チームメイトからのひとことずつが繋がったものだと思つており、全員で掴みとる一勝を今年の夏は一つでも多く、支えていただいている方々と夢舞台へ駆け上がり、これからも応援よろしくお願ひいたします。

三年生マネージャー 古市京花

■高校軟式野球部
軟式野球部は、創部6年目を迎え、文武両道をモットーに日々練習に励んでいます。

昨年度の新チーム結成当初は、夏・秋・春の三季連続東海大会出場を経験していたにもかかわらず、夏季大会、秋季大会で東海大会出場を逃し、非常に悔しい思いをしました。

冬から春にかけての練習では、春季大会優勝を心に誓い、選手一人一人がこの悔しさを胸に今まで以上に努力しました。そして数々の強豪高校との練習試合を通して、チームの成長を実感し、自分たちの実力に自信をもつようになりました。

そうしたなかで迎えた春季大会では、初めて決勝リーグ全勝という成績を修め、二年連続の優勝を果たし、ついに東海大会出場の切符を手にすることができました。

6度目の東海大会！過去5度の東海大会ではいづれも初戦で敗退して

いるので、今度こそ、チーム一丸となつて、創部以来の悲願である東海大会初勝利を勝ち取り、新たなステージで戦うことを目指していきたいと思ひます。

また、2021年に三重県で開催される国体に向けて高田高校軟式野球部が強化指定校に選出され、先輩たちの努力・チームの絆を受け継いでいくべく、より一層熱心に練習を積み重ねています。

今後の軟式野球部の挑戦に熱い声援をよろしくお願ひします。

■高校卓球部
平成28年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選が行われました。結果は次の通り。

【シングルの部 中勢地区予選】
4月23日 津市久居体育館
男子シングルの部はB早川広晃ほか計3名。女子シングルの部はB宮本菜里ほか計9名。男子ダブルスの部はII倉本昂I6土肥慶祐ペアほか計4ペア。女子ダブルスの部はII4駒田華I2岩間美樹ペアほか計6ペアが予選を通過しました。

なお三重県ランキング上位により、男子シングルの部はII2永井皓大、II2阿南皓哉、II4田中光二、II3福井慧人、I6石城蓮。女子シングルの部はIII瀨古風沙、II6鈴木海月。男子ダブルスの部はII2阿南皓哉II4田中光二ペア。女子ダブルスの部はIII瀨古風沙II6鈴木海月ペアが、予選免除の県大会出場となりました。

【シングルの部 三重県予選】
4月30日・5月1日 津市体育館

男子シングルの部は、II2阿南皓哉が優勝、II4田中光二が第2位、I6石城蓮が第4位。女子シングルの部は、II6鈴木海月が第3位で念願の全国総体・東海総体の出場権を獲得しました。また男子の部はIII福井慧人が第6位、女子の部はIII瀨古風沙が第6位で東海総体の出場権を獲得しました。

【ダブルスの部 三重県予選】
5月4日 津市体育館
男子ダブルスでは、II-3 福井慧人・I 6 石城蓮ペアが第3位で東海総体の出場権を獲得しました。

【団体の部 三重県予選】
5月28日・29日 津市体育館
男子団体は2年連続10回目の優勝で全国総体・東海総体、女子団体は第2位で東海総体の出場権を獲得しました。

東海総体は6月18日～19日に岐阜県多治見市で、全国総体は7月30日～8月5日に岡山県総社市で開催されます。

■高校硬式テニス部

硬式テニス部は、学校のコートと高田短期大学のコートに分かれて、日々練習に励んでいます。今年から新しいコートも使えるようになり、部員達の練習にも力が入っています。普段の練習では、2・3年生が中心になり、後輩部員に基本的な練習を指導しながら、お互いを高め合っています。今年度は、男女合わせて23名の1年生が入部しました。

現在は、8月に行われる大会の予選に向け、日々の練習やトレーニング、他校との練習試合を通じて、一人ひとりが一戦一勝を目指して努力しています。

■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部員は男女併せて50名で活動しています。その活動は、高校から陸上競技を始めた選手も多く、自己記録の更新を目指して日々練習に励んでいる選手から、トラック&フィールドや駅伝において東海・全国大会に出場し大舞台での活躍を目標にしている選手まで幅広い選手層があります。このようにチームの中で成長し活躍するには選手同士の深い絆があるからこそ成り立っています。個人種目で

- ありながら、皆が互いに支え合おうとする思いやりを持ったチームです。また、夏と冬に実施する厳しい合宿では自分と向き合う中で自己と他者との違いや強みや弱点を体感し強化することで日常生活や平素のトレーニングに繋げる取り組みを大切にしています。準備や片付けなどにおいても上級生が下級生任せにすることなく各種目のパトリダーを中心に全員が目配りや気配りができる選手になれるよう取り組んでいます。このことができて、トレーニングにおいても年間を通して怪我なく、休むことなくアフターケアまで徹底できた選手が今シーズンも4月から自己記録を更新し、各種大会で活躍してくれました。これから厳しい夏の時期になりますが来る秋シーズンに新チームが新たな活躍をしてくれることに期待しながら一日一日を充実させていきたいと考えます。
- 第46回三重県高等学校陸上競技春季大会
- 男子 400m 丸山正靖
 - 準優勝 4年e組 丸山正靖
 - 第4位 3年C組 愛敬虎之介
 - 4×400mリレー
 - 第4位 4年e組 松葉光
 - 4年e組 丸山正靖
 - 3年D組 刀根拓也
 - 3年C組 愛敬虎之介
 - 800m
 - 第6位 3年C組 愛敬虎之介
 - 5000m競歩
 - 第5位 2年A組 岩瀬映伊美
 - 第66回三重県高等学校総合体育大会陸上競技の部
 - 男子 4×400mリレー
 - 第4位 3年D組 刀根拓也
 - 4年e組 丸山正靖
 - 2年B組 伊藤彰真
 - 3年C組 愛敬虎之介
 - 400m
 - 第6位 4年e組 丸山 正靖
 - 800m
 - 第6位 3年C組 愛敬虎之介
 - 走幅跳

第6位 6年d組 仲村快太
女子 七種競技
第6位 3年A組 林 百香
5000m競歩
第7位 2年A組 岩瀬映伊美
※6位までに入賞した選手が東海高校総体に出場

■高校水泳部

こんにちは、水泳部です。私たちは現在、男子4名、女子4名の計8名で活動しています。スイミングスクールに所属する選手も多いため、毎日全員揃って練習できるわけではありませんが、週3回は全員揃って練習しています。練習場所や練習内容は様々ですが、基本的には5月中旬から9月末までは学校のプールで泳ぎ、その他の時期は陸上でのトレーニングと外部プールを利用しての泳ぎ込みを中心に行っています。他校との合同練習会や三重県高校水泳部の合同合宿にも積極的に参加しています。

私たちは、高校に入ってから久しぶりに泳ぎ始めた選手、県大会で3位入賞することを目標にしている選手、さらには東海総体で決勝に残り、インターハイに出場することを目指し練習に励む選手もおり、レベルは様々ですが、お互い刺激を与え合って練習しています。昨年は、部員13人全員が東海総体に出場することができました。他校と比べ、人数が少ない中でも、リレー1種目を通してチームが1つになり、団体として上位に入賞することができました。

今年も全員で東海総体に出場できるように、チーム一丸となって頑張りますので、応援よろしく願っています。

■高校バスケットボール部

私たちバスケットボール部は、男子選手20名、女子選手17名、マネージャー11名で活動しています。部活動と勉強の両立のため、休日に行われる模擬試験などで全員が揃わないこともあります。楽しく一

生懸命練習しています。私たちは、平日も休日も、基本的には毎日練習しています。中学バスケット部が体育館を使用するときは、外を走ったり、筋力トレーニングをしています。平日は6時半くらいまで練習し、内容は、基礎的な練習を主にやっから、実践的な練習をします。休日は午前中に練習試合をすることもあります。

今年4月に行われた総体地区予選で、女子は1回戦を快勝し、2回戦は敗れましたが、3回戦で辛勝して地区6位に入賞することができました。3回戦では、県大会がかかったのもあったのか、第1クォーターではいつもの調子が出せずハラハラしましたが、第2クォーターから巻き返し勝つことができたので、応援に来てくださった方々と喜びました。前回の大会に続いて、県大会に連続して出場できました。男子は、今回残念でしたが、県大会上位入賞を目指し、日々頑張っています。

これからも先輩方が築き上げてこられたバスケットボール部を受け継ぎ、発展させていきたいと思います。

■高校バレーボール部

男子バレーボール部は、3年生7名、2年生4名、1年生7名、マネージャー19名の計27名。女子バレーボール部は、3年生3名、2年生9名、1年生8名の計20名で活動しています。

バレーボール部では、技術や戦術だけでなく、将来に必要な能力も学べます。例えば、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに行動できる能力です。バレーボールという競技は決して1人でできる競技ではありません。チームの仲間や保護者などたくさんの方の協力があって、初めてチームとして成り立ちます。自分のためだけでなく、人のことを思いやり行動する。そのためには、日頃

の生活から心掛ける必要があります。苦しいときは、励まし合い、楽しいときは、一緒に楽しみ、どんなときでも笑顔を忘れない。また、奉仕する心を持ち、自ら取り組むことができるようにチーム全体が心掛けています。

3年生が主体となったチームでは、男女とも試合に勝てない期間が続き、苦しい時間を過ごしました。しかし、この苦しい時間も諦めず、一緒に励まし合い、助け合いながらチームの結束を強めました。その結果、女子バレーボール部では、春季大会において第7位、三重県高等学校総合体育大会において第5位という成績を残すことができました。

この結果に満足せず、常に向上心を持ち、さらに日頃から協力して頂いている方々への恩返しができるよう、男女とも目標としている県ベスト4を目指します。

■高校ハンドボール部

現在ハンドボール部は、3年生が引退し、男子二十五名、女子七名で活動しています。

昨年十一月に行われた新人大会では、男子は、予選リーグで伊賀白鳳高校に引き分け、津工業高校に敗れ、決勝トーナメントに進出することができませんでした。女子は、予選リーグでいなべ総合学園に勝ったのですが、四郷高校と川越高校に敗れ、決勝トーナメントに進出することができませんでした。

昨年十二月に行われた選抜大会では、男子は、予選トーナメントで白子高校に敗れました。女子は、予選トーナメントで上野高校に勝ったのですが、川越高校に敗れました。

先日行われた県総体では、男子は、津西高校に勝ったのですが、強豪四日市工業高校に敗れ、第五位入賞となりました。女子は、四日市南高校に敗れました。男女とも健闘し、日頃の成果を十分に発揮することが

できました。卒業生の皆様、もし時間を作っていただくことができましたら、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思ひます。

■高校サッカー部

高田高校サッカー部は、今年度で創部23年目を迎えることになりました。現在、3年生14名、2年生24名、1年生26名の総勢64名で活動しています。昨年度の1月には人工芝の多目的グラウンドも校舎西側に完成し、サッカー部員の生徒達も恵まれた環境の中で、日々一生懸命ボールを追いかけ、汗をかき、充実した学校生活を送ることができています。

昨年度の成績は三重県サッカーリーグ2部リーグにて5位の成績でした。しかし、その後の選手権大会、新人大会はなかなか思い通りの結果を残すことができず、悔しい思いをしてきました。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、6月から再開する2部リーグに向けて、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となって練習に励んでいます。昨年度から、高田短期大学に女子サッカー部が創設され、今年度からはみえ高田FCも発足し、高校男子サッカー部も活気に溢れてきました。今後さらに好成績を残していきけるよう指導に励んでいきたいと思ひます。

■高校なぎなた部

現在男子一名、女子九名で活動しています。高三が男女各一名しかおらず、二年生中心の比較的小さなチームです。しかし、先日行われた県総体では、個人・団体の部で優勝。二年ぶりのインターハイ出場を決めました。一昨年に全国五位を獲得した後、主力が卒業し、昨年はレギュラーの過半数が一年生というメンバー構成となり、一年間苦戦が続きましたが、本年は現二年生が経験を積み、三年生の主将が必死にチームを鼓舞して戦った結果、全国選抜出場チームに圧勝することができました。六月に大垣市で行われる東海総体には団体、個人女子四名、男子一名、演技二組が出場します。昨年返還してしまつた総合優勝旗を奪回し、インターハイ上位入賞の足がかりにできるように練習に励みたいと思ひます。

(主な戦績)

・平成二十七年東海高等学校総合体育大会(平成二十七年六月静岡県吉田町)
団体の部 三位
女子個人の部 三位 渡辺絵未里
平成二十七年全国高等学校選抜なぎなた大会
(平成二十八年三月伊丹市)
女子個人の部 吉田のぞみ 三回戦進出

・平成二十八年五月相生高校(平成二十八年五月相生高校)
女子個人の部 優勝 吉田のぞみ
男子個人の部 二位 柴山裕至
演技の部 優勝 安井理緒・吉田のぞみ組
団体の部 優勝
(福山日菜・中道観月・安井理緒・吉田のぞみ・高林陽菜・佐脇千尋)

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。普段の練習としては、基礎体力作りを中心に基本的な技はもちろん、高度な技への取り組みも行っています。高度な技を練習する際、一番の妨げになるものが恐怖心です。しかし、それを乗り越えていかなければ、試合でいかにミスなく演技をしたとしても、点数が上がりません。選手たちには、その恐怖心に打ち勝つ精神力も同時に磨いてもらうことを目指しています。

本年度は島根県で八月に全国高校総体があります。昨年度、個人総合優勝の成績を修めた堀孝輔くんは、三年となった今年、二連覇を目指し体力面、技術面での課題にとりくんでいます。また、今年3月に長野県で行われた全国選抜大会においては種目別も含め個人総合優勝、いわゆる完全優勝を成し遂げました。結果、11月に東京で行われる全日本選手権の出場権も三年連続で獲得しました。もちろん、その他の部員も全国高校総体の枠を虎視眈々と狙っています。お互いがライバル心を持ちそれぞれの課題を克服していけば、誰が出場しても良い結果を期待することができそうです。

最後になりますが、新体操部OBの皆様の心暖かな応援ありがとうございます。今後も、各種大会において、審判等をお願いをさせていただくと思ひますが、その際はよろしくお願ひします。また、お時間がありましたら、部活動や大会を見に来ていただきたいと思います。

レーニング、技術向上のための練習、そして応用のパターン練習からゲーム練習までおこなっています。そして、大会のときに力を発揮できるように強い精神力を身に付けるため、それぞれが自分自身を追い込み日々の練習に取り組んでいます。さらに、土日や祝日にはOBの先輩や社会人のコーチの方に来ていただいて指導してもらっています。

■高校馬術部

第50回全日本高等学校馬術競技大会
7月20日(22日)
(静岡県御殿場市 御殿場市馬術スポーツセンター)
6 a 原田 尚青 4 a 齋藤 希美
II C 長野 天祐 4 a 松永 夢
II 5 吹戸 真由 II C 杉村 彩香

■高校ソフトボール部

ソフトボール部は、3年生4人、2年生9人、1年生9人の合計22人で活動しています。また1、2年生は半数以上が高校からソフトボールを始めた。平日は2、3時間を目安に基本的な練習を中心に行い、休日は練習試合を中心に練習を行っています。特に平日は限られた時間の中で、効率的に練習を行うため、休日の練習試合で出たチームの課題や個人の課題を意識し、切り替えを早く一つ一つのメニューを集中して練習をしています。練習や練習試合を重ねて、一つ一つ課題をクリアしていきたいと願っています。

■高校放送部

放送部は、平成二十七年第六十二回NHK杯全国高校放送コンテスト三重県大会では、ラジオドキュメント部門で最優秀賞、ラジオドラマ部門で奨励賞を受賞、アナウンス部門で優秀賞1名と奨励賞2名、朗読部門で奨励賞2名の結果を出しました。そして、第六十二回NHK杯全国高校放送コンテスト(全国大会)へ出場し、ラジオドキュメント部門において準決勝まで進出し、制作奨励賞(第6位)を受賞しました。

また、第三十五回近畿高等学校総合文化祭鳥取大会では、アナウンス小部門に出場しました。このように、昨年度も例年に引き続き、県大会や全国大会で多くの成果を上げることができました。

部員数も三十名を超え、活動も活発になり、アナウンス、朗読、番組制作と多角的に取り組んでいます。大会出場以外の活動として、毎日の「お昼の校内放送」をはじめ、三重テレビのワクドキ出演や、地元ケーブルテレビへのニュース映像の提供、一身田寺内町でのイベントやパレールールのVリーグでの司会を務めるなど、日頃の活動も広範囲にわたっています。さらに、生徒会直属の部として、体育祭や文化祭、ダンス発表会などの学校行事や生徒会行事でも準備や運営、記録映像の撮影、学校見学会や学校紹介に使用するビデオ作品の制作にかかわっています。アナウンスや朗読を通して、部員それぞれが自己の表現力の向上や伝えることや話すこと、番組制作での取材や編集を通して、人とかがわり協力し、コミュニケーション能力や企画力を向上させることを目指しています。

このように、高田高校放送部は部員一同お互いに協力しながら、それぞれの活動を支えあっています。すべてのお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、この良き伝統を受け継いで、さらに発展していくよう努力を続けたいと思います。

■高校バトン部

私たちがバトン部は、二、三年生二十七人に加え、今年新たに一年生二十五人が入部し、計五十二人で週五回活動しています。

生徒会直属の部として、春は体育祭でパレードの披露、夏には野球部の応援や文化祭で演技の発表をするなど、さまざまな行事に参加しています。学校行事以外にも、大会や検

定に参加します。昨年度はダンスドリル大会のPOM(ボンボン)部門で部として優勝、バトンタワーリーグ大会ソロトワールの入門と初級部門では十数名が金賞を受賞することができました。

私たちが例年特に力を入れて取り組んでいるのは、文化祭での発表です。先輩方が引退し、二年生が中心となって創り上げる初めての舞台であり、日々の練習の成果を披露することのできる貴重な場でもあります。曲の編集や振り付け、衣装などは自分たちで全て一から決めなければならず、戸惑うことばかりでした。しかし、その分練習を通して部員同士の絆が深まり、仲間を信じ、共に協力することの大切さや、一つのことを最後までやり遂げる達成感を改めて実感しました。また、自分がキャプテンとなり、まとめる立場に立つたことで先輩方の苦労を知ることができました。教え方はもちろん、人の褒め方や注意の仕方など、普段は考えないような事を考えるきっかけとなった点でも、良い経験になったと思います。

今年度は二年ぶりにバトンタワーリーグ大会の団体部門にも出場する予定です。バトンやダンスの技術を磨くだけでなく、挨拶などの礼儀を身につけることのできる、規律ある部活にしていきたいです。三年生はあと二ヵ月ほどで引退ですが、悔いのないよう精一杯取り組んでいこうと思います。(6b 早川 瑛子)

■高校応援団

応援団をよろしくお願ひします
応援団 顧問 水野 裕之
押忍!みなさんこんにちは、応援団です。時代の流れなのか、長い間高田の応援団は団員もおらず活動を停止していました。昔を知る先生方は学ランを着て野太い応援をしている姿が懐かしいといわれます。なんでもスマートフォンにこなそう、懸命にな

た姿が懐かしいといわれます。なんでもスマートフォンにこなそう、懸命にな

第66回三重県高等学校総合体育大会 結果
平成28年5月28日(土)~5月30日(月)

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国
陸上競技部	男子800m	ⅢC	敬虎之介	6位	○	
	男子走幅跳	Ⅵd	仲村山	6位	○	
	男子400m	Ⅳe	丸山正靖	6位	○	
	女子7種競技	ⅢA	林香美	6位		
軟式野球部	女子500m競歩	ⅢⅡ	岩瀬映伊	7位		
	団体	ⅢⅢ	荒川巧斗	優勝	○	
		ⅢⅢ	太田斗吾			
		ⅢⅢ	西川主馬			
		ⅢⅢ	中川音樹			
		ⅢⅢ	長崎洋樹			
		ⅢⅢ	西村雄三			
		ⅢⅢ	吉村慶輝			
		ⅢⅢ	松本航輝			
		ⅢⅢ	江口幸希			
		ⅢⅢ	伊藤彰真			
		ⅢⅢ	大西望恵			
		ⅢⅢ	高井一磨			
		ⅢⅢ	西原大晴			
		ⅢⅢ	鈴木日向			
空手道	男子個人組手	ⅢⅢ	坂井本	優勝	○	○
女子バレー部	男子個人形	ⅢⅢ	橋本有	3位	○	
	男子ハンドボール			5位		
なぎなた部	団体	ⅢⅢ	福山日菜	優勝	○	○
		ⅢⅢ	中観陽			
		ⅢⅢ	高林の理			
		ⅢⅢ	吉田緒			
		ⅢⅢ	安井千尋			
	女子個人	ⅢⅢ	佐藤み緒	優勝	○	○
		ⅢⅢ	安井理緒			
		ⅢⅢ	中道観			
		ⅢⅢ	佐藤千尋			
		ⅢⅢ	柴山千尋			
	演技	ⅢⅢ	佐藤千尋	優勝	○	○
		ⅢⅢ	中道観			
		ⅢⅢ	安井理緒			
		ⅢⅢ	中道観			
		ⅢⅢ	安井理緒			
柔道部	男子個人	ⅢⅢ	藤大崇	優勝	○	○
	男子個人	ⅢⅢ	荒木大	優勝	○	○
バドミントン部	男子団体	ⅢⅢ	中井空	5位		
		ⅢⅢ	大腹翔			
		ⅢⅢ	荒川太			
		ⅢⅢ	垣内雅			
		ⅢⅢ	大野史			
		ⅢⅢ	廣瀬大			
		ⅢⅢ	青坂拓			
		ⅢⅢ	井井			
		ⅢⅢ	伊井			
		ⅢⅢ	西田			

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国
卓球部	男子新体操部	ⅢⅢ	堀村孝輔	優勝	○	○
		ⅢⅢ	西山本亮	3位	○	
		ⅢⅢ	西村健	優勝	○	
		ⅢⅢ	堀孝輔	優勝	○	
		ⅢⅢ	豊田幸樹	優勝	○	
	男子団体	ⅢⅢ	豊田幸樹	優勝	○	○
		ⅢⅢ	磯部優貴			
		ⅢⅢ	米津慶			
		ⅢⅢ	永井皓大			
		ⅢⅢ	早川見哉			
		ⅢⅢ	阿南皓哉			
		ⅢⅢ	田中皓哉			
		ⅢⅢ	福井恒			
		ⅢⅢ	濱本恒			
		ⅢⅢ	石城蓮			
女子団体	ⅢⅢ	堀古月	2位	○		
	ⅢⅢ	鈴木海				
	ⅢⅢ	宮本里				
	ⅢⅢ	駒田華				
	ⅢⅢ	池田美				
	ⅢⅢ	岩間日				
	ⅢⅢ	長江香				
	ⅢⅢ	前元優				
	ⅢⅢ	吉川音				
	ⅢⅢ	阿南皓				
男子シングルス	ⅢⅢ	阿南皓	優勝	○	○	
	ⅢⅢ	田中皓	2位	○	○	
	ⅢⅢ	石城蓮	4位	○	○	
	ⅢⅢ	福井恒	6位	○	○	
	ⅢⅢ	鈴木海	3位	○	○	
	ⅢⅢ	宮本里	6位	○	○	
女子シングルス	ⅢⅢ	福井恒	3位	○	○	
	ⅢⅢ	鈴木海	6位	○	○	
	ⅢⅢ	宮本里	3位	○	○	
男子ダブルス	ⅢⅢ	福井恒	3位	○	○	
	ⅢⅢ	石城蓮	3位	○	○	
馬術部	団体	ⅢⅢ	長野天	優勝		
		ⅢⅢ	吹野真			
		ⅢⅢ	齋藤美			
	個人(障害飛越)	ⅢⅢ	齋藤美	優勝		
		ⅢⅢ	吹野真	3位		
		ⅢⅢ	齋藤美	優勝		
個人(馬場馬術)	ⅢⅢ	齋藤美	2位			
	ⅢⅢ	齋藤美	2位			
陸上競技部	男子4x400mリレー	ⅢⅢ	愛敬虎	4位	○	
		ⅢⅢ	伊井			
		ⅢⅢ	井井			
		ⅢⅢ	伊井			
		ⅢⅢ	伊井			

り過ぎない、そんな風潮の今の時代の中で、一生懸命、精一杯取り組む姿の大切さ・美しさをもう一度体現できたという思いから、昨年度より十数年ぶりに団員を募集。復活して活動を再開したことをご報告させていただきます。

現在の活動は、甲子園を目指す夏の野球部の試合応援が中心となっています。抜けるような青い空、吹き抜ける熱風、1点を争う緊張感のある野球部の試合を応援できることをたんへんうれしく思っております。吹奏楽部やバトン部と共に、太鼓をたたき、精一杯の声をあげておくりまします。団員は、女子生徒2名。精一杯声を出したい、自分を変えてみたい、

そのような思いから集まってくれた生徒です。大切に育てます。すぐさま昔のような応援団とはいきませんが、これから少しずつ団員を増やし、活動の場を広がっていきたく思います。なにとぞ皆様からのご指導・ご鞭撻をいただくとともに、温かく見守っていただくとともに、温かく今後とも応援団をよろしく願っています。

■高校生花部

生花部は、現在三年生五名、二年生四名、一年生三名の計十二名で活動しています。

これまで十三年間にわたりご指導くださった小林滋子先生がこの三月で退職され、今年度より細川知子先生にご指導いただいています。

昭和二十五年高田中学校の授業(女子のみ)の一科目として始まった「華道」の先生は、滋子先生のお母様愛子先生でした。翌年高校の部活動「生花部」が誕生し、愛子先生に三十二年間ご指導いただいた後、昭和五十八年からは滋子先生のお姉様絢子先生にご指導いただきました。そして平成十四年一月から滋子先生にお世話になり、大変お忙しい中、週一度のお稽古に加え、数々の花展

への出版や「花の甲子園東海地区大会」への出場など、多くの機会を部員たちに与えていただき、すばらしい経験をさせてくださいました。また、いけ花に関するお話はもちろん、ユーモアたっぷりのお話や最先端の話題で部員たちを楽しませてくださるなど、長きにわたり生花部員を育てていただき、心より感謝申し上げます。この四月からご指導いただいています。細川先生には、これまでにも文化祭や花展でお世話になってきました。今年度は三年ぶりに「花の甲子園東海地区大会」に出場する予定で、今後も積極的に活動していきたく思っています。

■高校演劇部

昨年度、七月二十五日～二十七日に津市白山総合文化センターで開催された第六十回三重県高等学校演劇大会・中南勢地区大会において、演劇部は「M」(作:西尾徳)を上演し、優秀賞を受賞、八月七日への出場権を得た。さらに、八月七日～九日に三重県総合文化センターで開催された第六十回三重県高等学校演劇大会において最優秀賞を受賞、三重県代表として、十二月二十四日～二十七日に野々市市文化会館フォルテで開催された、第六十八回中部日本高等学校演劇大会に出場した。

今回の舞台は、制作したパネル十七枚を立てて、そこにセットを組む、大がかりなものであったが、上演一ヶ月前の、主催県および会場との打ち合わせで、大きな課題を抱えることとなった。舞台上にカーペットを敷かなければならなくなったのである。舞台セットは規定時間内に組まなければならないが、カーペットも含めて時間内に処理するのは到底不可能な事に思えた。しかし全員で気持ち一つにしてそれをクリアしなければならぬ。演技やスタリアフワンクもさることながら、何よりも懸念されるセッティングに稽古時

間を割く日々が続いた。何度も時間を計って取り組み、問題点を洗い出し、調整を重ねたうえで臨んだ大会であった。稽古の甲斐あって、本番では納得のいく上演ができ、無事に幕を下ろすことができた。奨励賞を受賞した。

■高校家庭部調理班

私たちは一年生二十二人、二年生十二人で活動している家庭部調理班です。

調理部のモットーは「みんなで食べて人とのつながりを育む。」です。初め、入部したての一年生は緊張や不安で固まっていたのですが、今では食の力によって個々の自分らしさを表現し、調理の面でも多種多様なアイディアを発表することができています。例えば、パウンドケーキをカレー風味にアレンジがしてあったりと、二年生にはなかったアイディアを出してくれました。二年生は一年生の時に教わった塩加減、ゆで加減などの基礎を応用し、日本食はもちろん、異文化の食事を作ったりもしています。また、残った食材から、おいしい料理を考えたりしています。

最近の二年生は、老人施設等の年齢が異なる人達にも料理を食べ喜んでいただく事を目標に、ちらし寿司のアレンジメニューをみんなで作っていました。そして、五月二十一日に具体的な意見を聞くために、本校の先生方に試食をしていただきました。その結果、自分たちの想像を越える良い反響をいただき、さらにレシピを磨こうと計画中です。お菓子の面では、無添加でふわっとしっとりとした、ケーキ屋さんでは味わえないような、私たちがなりのシフォンケーキを試行錯誤しています。

もうすでに、完成形が見えているグループもあり、今後、どのような変化をとげるのか、楽しみでもあります。そのようにして、今は、九月にある文化祭のために集中し、一年生はパウンドケーキ二年生はシフォンケーキを作り、共に意見交換をし、互いにより良いお菓子を出来るように未完成のレシピを切磋琢磨して完成させようとしています。

■高校仏青インテラーアクト部

私たち仏青インテラーアクト部は、春に12名の新入部員を迎え、男子17名女子13名で楽しく活動しています。ボランティア活動が中心で、学校行事や地域行事のお手伝い、美化活動、募金活動などを行っています。今年度は環境委員と協力して、ゴミ拾いのビニール袋を持ち歩くことができる携帯ゴミ箱を作りました。携帯ゴミ箱を作ったことは中日新聞に取り上げられ、沢山の人が高田高校のことを知ってもらうことができました。ボランティア活動として環境委員の活動に協力し、新聞を見た知人から「高田高校が新聞に大きく載っていたよ、すごいね」と賞賛の声を聞いて、利益を得るためにしていたわけではないのですが、とても清々しい気持ちになりました。

また、日本赤十字社が行っている熊本地震災害義援金にも高校生徒会と協力して生徒の皆さんや先生方、そして一般の方にも沢山の寄付金を頂きました。学校の校門で募金活動をしていると校門の前を通った一般の方に「どこに募金するの?」と聞かれたので、「日本赤十字社です」と答えたところ、「頑張ってるね」と励ましの言葉をいただき、お金がいっぱい詰まった貯金箱を私たちに渡してくださいました。学校内の人には私たちの募金活動は見てもらえないかと思っていました。自分たちが大きな声で募金を呼び掛け

ることによって、一般の方にも見ていただいていると分かり、これからは被災地の復興の為に頑張ろうと思っていました。

今後、仏青インテラーアクト部にとつての大きな行事は、11月6日にある三重県インテラーアクト協議会です。これは高田高校がホスト校となり、インテラーアクトクラブに加盟している県内の高校生との交流をする行事です。私たちはこの行事の為に日々出し物などの企画を考えています。準備など大変だとは思いますが、多くの方のサポートをいただきながら頑張っていきたいと思えます。

■高校将棋部

5月1日に行われた第52回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、高田高校は女子団体戦で優勝し、広島県で行われる全国大会への出場権を獲得しました。また、5月22日に行われた第12回中学校将棋団体戦三重県大会において、高田中学校は優勝し、大阪で行われる西日本大会への出場権を獲得しました。

将棋部は、放課後2時間ほどの練習を毎日行っています。中学生、高校生の区別もなく大会に向けて実戦中心の練習を行い、対局後についてはお互いの良かったところや、悪かったところなどを確認しながら試合で勝つことを目標に練習に励んでいます。今年度は中学1年生の女子部員も入部し、基本から学んでいます。また、土日には他の学校の生徒たちと練習試合を行うなど、棋力の向上に向け努力を重ねています。



国際交流委員会

第二十二回 オーストラリア交換留学

若林 広 繁

三月十一日から三月二十五日まで
の十五日間、本校オーストラリア交
換留学プログラムに参加させていた
だきました。私と水平先生は生徒
十九名とパレード校へ、丹羽先生と
事務部の小津先生は生徒十八名とセ
ントモニカ校へ、総勢四十一名での
研修となりました。

十一日早朝になぎさまちを出発し、
セントレア空港からシンガポールの
チャンギ空港で乗り換えて、十二
日の朝にメルボルンに到着しまし
た。メルボルン空港には両校の先生
方にお出迎えをしていただき、空港
から両校へはバスで移動をしました。
各校でホストファミリーとの対面
後、私たちが教員もそれぞれホストの
先生と三連休を過ごしました。私は
昨年このプログラムに参加された宇
仁田先生をホストされたジョン先生
宅に五日間ステイさせていただくこ
とになりました。ご自宅の庭からは
広い池を見渡すことができ、非常に
優雅なひと時を過ごさせていただきました。
また、二日目の休日には水
平先生のホストであるリサ先生とア
ダム先生夫妻とともに、パツフィン
ビリー鉄道という二十世紀初頭に建
設されたオーストラリア最古の蒸気
機関車鉄道に乗りました。この列車
は、機関車トーマスのモデルにも
なつたと言われています。

三連休が終わわり、いよいよパレ
ード校の登校日となり、まずは最初
に入校式を行いました。大勢の生徒た
ちの前でのスピーチを行った本校代
表生徒の二名は、緊張しながらも
堂々と英語での挨拶にオーストラ
リアの先生方も感激されていました。

入校式後、本校生徒たちはパレ
ード校の生徒たちにグループ別に校内案
内をしていただきました。時より案
内を日本語で説明している生徒もお
り、交流は仲良く行われていました。
その後はマグカップ作成し、美術の
授業見学を行い、タスマニアアンデ
ザインの説明を英語で受け、オース
トラリアの文化を学びました。午後は
パレード生徒の日本語授業に参加し
本校生徒たちも英語を用いて、日本
文化を説明していました。登校初日
から、本校生徒たちは充実した交流
に取り組みることができました。五
日にはパレード校はソブリンヒル
(金鉱野外博物館) 体験学習、セン
トモニカ校はサーフィン実習、六日
目には両校が入れ替わり、パレ
ード校がサーフィン実習、セントモニ
カ校がソブリンヒル体験学習を行いま
した。サーフィン実習では生徒全員
が約一時間のサーフィン実習にチャ
レンジし、たくさんの生徒たちが初
めての波乗りに成功しました。私も
人生初のサーフィンに挑戦し、生徒
たちに交じりマリンスポーツを楽
しました。七日目、パレード校はシ
ティランブルというメルボルン市内
での別研修を行いました。出発時
は大雨で心配な面がありましたが、
メルボルン市内に着くと雨は止み、
生徒たちも街を散策しながら研修を
楽しんでいました。

入校式後、本校生徒たちはパレ
ード校の生徒たちにグループ別に校内案
内をしていただきました。時より案
内を日本語で説明している生徒もお
り、交流は仲良く行われていました。
その後はマグカップ作成し、美術の
授業見学を行い、タスマニアアンデ
ザインの説明を英語で受け、オース
トラリアの文化を学びました。午後は
パレード生徒の日本語授業に参加し
本校生徒たちも英語を用いて、日本
文化を説明していました。登校初日
から、本校生徒たちは充実した交流
に取り組みることができました。五
日にはパレード校はソブリンヒル
(金鉱野外博物館) 体験学習、セン
トモニカ校はサーフィン実習、六日
目には両校が入れ替わり、パレ
ード校がサーフィン実習、セントモニ
カ校がソブリンヒル体験学習を行いま
した。サーフィン実習では生徒全員
が約一時間のサーフィン実習にチャ
レンジし、たくさんの生徒たちが初
めての波乗りに成功しました。私も
人生初のサーフィンに挑戦し、生徒
たちに交じりマリンスポーツを楽
しました。七日目、パレード校はシ
ティランブルというメルボルン市内
での別研修を行いました。出発時
は大雨で心配な面がありましたが、
メルボルン市内に着くと雨は止み、
生徒たちも街を散策しながら研修を
楽しんでいました。

入校式後、本校生徒たちはパレ
ード校の生徒たちにグループ別に校内案
内をしていただきました。時より案
内を日本語で説明している生徒もお
り、交流は仲良く行われていました。
その後はマグカップ作成し、美術の
授業見学を行い、タスマニアアンデ
ザインの説明を英語で受け、オース
トラリアの文化を学びました。午後は
パレード生徒の日本語授業に参加し
本校生徒たちも英語を用いて、日本
文化を説明していました。登校初日
から、本校生徒たちは充実した交流
に取り組みることができました。五
日にはパレード校はソブリンヒル
(金鉱野外博物館) 体験学習、セン
トモニカ校はサーフィン実習、六日
目には両校が入れ替わり、パレ
ード校がサーフィン実習、セントモニ
カ校がソブリンヒル体験学習を行いま
した。サーフィン実習では生徒全員
が約一時間のサーフィン実習にチャ
レンジし、たくさんの生徒たちが初
めての波乗りに成功しました。私も
人生初のサーフィンに挑戦し、生徒
たちに交じりマリンスポーツを楽
しました。七日目、パレード校はシ
ティランブルというメルボルン市内
での別研修を行いました。出発時
は大雨で心配な面がありましたが、
メルボルン市内に着くと雨は止み、
生徒たちも街を散策しながら研修を
楽しんでいました。

入校式後、本校生徒たちはパレ
ード校の生徒たちにグループ別に校内案
内をしていただきました。時より案
内を日本語で説明している生徒もお
り、交流は仲良く行われていました。
その後はマグカップ作成し、美術の
授業見学を行い、タスマニアアンデ
ザインの説明を英語で受け、オース
トラリアの文化を学びました。午後は
パレード生徒の日本語授業に参加し
本校生徒たちも英語を用いて、日本
文化を説明していました。登校初日
から、本校生徒たちは充実した交流
に取り組みることができました。五
日にはパレード校はソブリンヒル
(金鉱野外博物館) 体験学習、セン
トモニカ校はサーフィン実習、六日
目には両校が入れ替わり、パレ
ード校がサーフィン実習、セントモニ
カ校がソブリンヒル体験学習を行いま
した。サーフィン実習では生徒全員
が約一時間のサーフィン実習にチャ
レンジし、たくさんの生徒たちが初
めての波乗りに成功しました。私も
人生初のサーフィンに挑戦し、生徒
たちに交じりマリンスポーツを楽
しました。七日目、パレード校はシ
ティランブルというメルボルン市内
での別研修を行いました。出発時
は大雨で心配な面がありましたが、
メルボルン市内に着くと雨は止み、
生徒たちも街を散策しながら研修を
楽しんでいました。



進路状況と キャリア支援について

キャリア支援センター

平成27年度卒業生の進路状況につ
いて報告します。

子ども学科卒業生141名の進路
先は、幼稚園15名、保育園・保育施
設108名、福祉施設・医療機関11
名、一般企業5名、家事従事等は2
名でした。また、幼稚園教諭・保育
士の専門職としての就職者は全体の
88%を占め、例年どおり高率を維
持しています。

キャリア育成成人材育成学科オフ
スワークコースでは60名が卒業し、
卸・小売業20名、サービス業10名

製造業9名、金融・保険業4名、運輸・
通信業4名、建設業2名、電気・ガ
ス業1名の50名の一般企業に就職し、
医療・福祉機関に5名、公務員が
1名、家事従事等は2名、専門学校
進学が1名、未内定1名でした。ま
た、同学科介護福祉コースを卒業し
た17名は、介護保険施設に11名、障
害者支援施設に4名が就職し、家事
従事等が2名でした。

全体としては、卒業生218
名に対し、就職希望者211名、就
職決定者210名、未内定1名、進
学者1名、家事従事等6名となり、
就職率は99.5%という結果でし
た。

求人状況を見ると、平成27年度
の子ども学科への求人は975人
(前年度845人)、キャリア育成
学科オフスワークコースへは1,
179人(前年度891人)、介護
福祉コースへは807人(前年度
813人)と全体として求人数の大
幅な増加がみられます。このことは
全国的に保育士や介護福祉士が求め
られている状況にあると言えます、こ
れまで培ってまいりました本学及び
高田学苑全体の取組が評価されてい
ることによるものと存じます。とり
わけ、樹心同窓会の皆さま及び県内
の各幼稚園、保育園、施設、企業等
でご活躍されておられる卒業生の
方々におかれましては、いつも学生
のことを気にかけていただきご支援
いただいておりますこと、深く感謝申
し上げます。ありがとうございます。

さて、学生の就職活動について
は、早期化・長期化の是正を図るた
め、昨年度、企業の広報活動は卒業
前年度の3月、採用活動は8月から
に変更されたところですが、本年度
から採用活動が再度6月からと改め
られました。5月の声を聞くや否や、
キャリア支援センターは学生たちの
賑やかな声に包まれています。彼や
彼女たちには、この厳しい時期に当
たり、単に就職先を求めるといっ

短大部会だより

北端 一子

短大が、開学五十周年の記念の年
になりました。入学した頃は、坂道
が砂利で敷き詰められ、山の上まで
歩いていく事は、大変でした。どう
思っているに建てたのだらうと、いつも
思っていました。本館が一棟建って
いるだけで、いまでは考えられない
風景でした。一身田駅から大勢が歩
いて通学していました。一つ一つ考
えていると思ひ出されます。不思議
なものです。

今では、高田短期大学の学科が増
え、数々の地域貢献事業も充実して
おり、地域活性化に貢献しており、
誇りに思っています。そして何より、
女子サッカーが出来たことは、同窓
生として喜びであり、応援してい
たいと思います。

短大部会ですが、第一回の役員会
が、四月二十八日午後七時にありま
した。全員の役員が揃うことは難し
いですが、出席率の高い日を選んで
決めています。ほとんどが現役です
ので、揃いにくいですが、大体四月
の末に一回と連絡物の発送前九月末
の末に一回と、高短祭の時に一回と一
月末ぐらいに一回の計四回会議を予定
しております。

先日の会議には記念式典の日程や、
場所の確認とおおまかな内容を聞き
ました。短大部会として特になし
のですが、式典の費用の一部として
少し援助することに決めました。

次に高短祭が十月二十二日と
二十三日の土日開催されます
で、同窓会として二十日の土曜日にバ
ザールをすることにしました。前年度は
手作り品が多く集まりましたので、手
に取って見ていく人が多く、人気商品



会員だより

となりました。今年度も多く集まることを期待しております。会員の皆様が集めてくださった品物でバザーが出来ますので一つでも多く商品が増えるように、協力をお願いいたします。バザーの収益金は、同窓会を開催した時の費用の一部として使っていたきたいと助成金に当てます。金額としては少ないですが、通信費や記念写真代、会場代などに使っていただけだと思います。食事は出来ませんのでご了承ください。

ぜひ、その時は、短大同窓会まで連絡をください。高短祭に同窓会を催すこともありかなと思いますので、考えてください。待っています。

Ⅲ Eと柔道部・卓球部・バレーボール部有志の同窓会

平成二十七年十一月二日、プラザ洞津にて、E組、柔道、卓球、バレーボール部有志のプチ同窓会が開催され、二十名の参加がありました。皆さん昔話に花を咲かせ楽しいひととき

を過ごし再会を約束し会を終えました。

高校昭和43年卒

水野 進・中寿美

桜の花も葉桜となりいよいよ春本番ですが、同窓生の皆様には大変ご無沙汰しております。いつも同窓会の通知を頂くのですがついおっくうになり病気持ちのため欠席しておりますみません。今度、三重で各国首脳

のサミットがあると聞き大変喜んでるしだいです。

学校は発展していると思います。私もこの三月二十七日で六十七歳になり高齢者です。

いつも失礼している変わりに私が六十六歳のときとった写真を同封しておきますので見て下さい。

もう死去された方もおられるのではないかと思います。乱筆乱文にて失礼致します。

平成二十八年四月十一日
短大保育
昭和四十四年卒業生
佐藤 敏子



高田短期大学三期生
昭和四十五年三月卒業

私たち三期生は、学生数が多く、実技を伴う講座は便宜上二クラスに分かれていた。出席の前半と後半に。その、前半の多くの学友がたまたま鈴鹿周辺に暮らしており、七年前にちよっと寄りましょうと初めて集まったのが十一名。県外に出ていた仲間も、連れ合いさんの定年でUターンしたこともあって。

そして、今回は都合二回目のミニ同窓会を再び鈴鹿において開いたところ十名参加。(うち後半組から一名参加)

半世紀ぶりに会う友もいて、お互いに年を重ね随分と外見は変わってしまったけど、話すことは尽きることなく、二次会のカラオケボックスでは、歌を忘れたカナリや集団と化し、初夏の長い午後のと時が過ぎるのはあつという間。

創立五十年を控え短大も歴史が刻まれたなあ感慨深い。今や学科も増え、学生数も増え、すっかり様変わりし、五十年という時の重みを感じる。

高田短期大学三期生
昭和四十五年三月卒業生
寛 裕子



「気分は17歳」
〜再会する口を夢見て〜

高田高校を卒業し、今年で三十年目になります。当時、なぎなた部の顧問の寺本先生から、「三浦、やってみませんか。」と声をかけて頂きました。在学中は、なぎなた部に所属していました。大学・社会人と競技を続けました。津市内の中学校で、八年間、教師をしていました。仕事と競技の両立は、とても大変でしたが、

充実した二十代を過ごしました。現在は、結婚し、島根県松江市在住十七年目になります。先日、なぎなた日本一を目指している高校一年生の娘と、私の高田高校時代のアルバムを、見る機会がありました。その中でも、一番写真が多いのは、修学旅行。写真を見ながら、私の気分は十七歳にタイムスリップです。「生徒も担任の先生も、すごく楽しそう。」と娘の一言。担任とのツーショット写真や、女子が担任を囲んでの写真が、明らかに多いのです。その担任は、安井先生。II Gの女子は、



安井先生と仲良しでした。何十年かぶりに、安井先生と連絡を取り、修学旅行の話で盛り上がりました。安井先生の声や話し方は、当時と全く同じでした。まるで、昨日まで、II Gの教室にいたみたいに、距離が縮まりました。さらに、私の気分は十七歳です。一気に、若返りました。II Gの友人とも連絡を取り、「安井先生に会いたいな。」と話しました。三重弁での会話が、最高に心地良かったです。卒業して30年経っても、「会いたい。」と思える先生が、高田高校にはおられます。遠く離れていても、人と人の気持ちが繋がる

のは、とても大切だと感じました。アルバムを見るきっかけになった娘に感謝。高田高校に感謝。寺本先生に感謝。なぎなたに感謝。II Gの友人に感謝。そして、安井先生に感謝(再会する口を夢見て)

高田短期大学三期生
昭和四十五年三月卒業生
青戸 真弓 旧姓(三浦)(後列左端)

高田中学三年制(二四期生)・六年制(五期生)
合同還暦同窓会

平成二十八年一月二日、ホテルグリーンパーク津で、高田中学三年制(昭和四十六年卒)と六年制(昭和四十九年卒)合同の還暦同窓会を開催しました。

私たちが高田中学に入学したのは昭和四十三年四月でした。三年制二クラスと六年制一クラスで、三年間を共に過ごしました。卒業後は三年制と六年制がそれぞれ別々に同窓会を開いていましたが、みんなが還暦を迎えるに際して、合同で同窓会を開催しようという話を持ち上がりました。

最初に言い出したのは、横浜の伊藤渡君ということになっています。その話を埼玉の西村修一君が県会議員の舟橋裕幸君に持ち込み、具体化されたものです。

準備段階では、果たしてどれだけの人数が集まるか危惧されました。しかし、幹事の呼びかけに応じて、三年制二十五名、六年制十名、合計三十五名の卒業生が参加して、旧交を温めることができました。

当時の三年制と六年制では、教室が離れていたこともあり、クラブ活動以外での交流は少なかったように思います。しかし、今回の合同還暦同窓会では、時間が経つにつれ話の輪が広がり、久しぶりというよりも初めて話をしたという同窓生も多かったのではないかと思います。

高田短期大学三期生
昭和四十五年三月卒業生
寛 裕子



さて、還暦同窓会に当たり、三年制担任の上杉義照先生と六年制担任の青木茂美先生が、それに五名の同窓生が物故者に名を連ねたことは残念な思いでした。また、三年制担任の本田保子先生は、ご都合が合わず参加いただけませんでした。

同窓会閉会時に、何年か後に再び合同の同窓会を開催しようという要望が出されました。幹事一同(舟橋西村、大杉、川田、千草)、是非実現していきたいと考えています。

千草 篤磨

昭和四十年卒の同窓会が、二〇一五年十月四日、高田会館、あかりで行いました。卒業して五十年を迎え、学校を訪れると、当時の面影が全くなく近代的な校舎、広くなった運動場：など、大変身に驚きました。本山にお参りし、当時、毎月お参りしたことを懐かしく思い出しました。



前回、今回と、ご欠席で少し寂しいですが、三年間音楽を教えて下さった杉山先生をお招きして、四十一名、近況報告したり、校歌を歌ったり、姿は変わっているのに、気持ちは当時のまま、楽しいひとときを過ごしました。還暦を迎えてからは、二年毎に開いています。毎回参加する方には、元氣だった？卒業以来、初めて参加する方には、あれ？誰だったかな？って感じですよ。二年後、元氣でお会いすることを約束して会を終えました。

古市 洋子 旧姓(柴山)

私達は、新高卒十二期生(昭和三十五年卒)です。卒業してから五十六年目になろうとしています。年齢も七十五歳で、喜寿目前です。

卒業生は、二〇〇余名。物故者も一割を越えています。七十歳を越えてからは、毎年、六月に津市半田涼



風荘(同級生、伊藤安文氏宅)にて、学年同窓会を開催しております。恩師は、A組富山、B組浜口、C組今田、D組小妻の各先生です。在学中の思い出と言えば、高三の九月に東海地方を襲った伊勢湾台風です。体育祭は中止、文化祭は講演のみ。卒業記念アルバムには、屋根のなくなった校舎の写真が、痛々しく載っています。本山の境内には、仮設の避難所が立てられていたのを思い出します。

瀬野 記

平成27年度 退職教職員

- (中・高) 井上庸子、田中茂、花實龍雄、細野道太郎、宮崎洋一、(短大) 井澤淑子、大久保孝子、川口正行、田中薫、土肥稔治、西出美紀、日沖歩

ご受章おめでとうございます 後藤伍男様 (高校昭和27年卒) 旭日双光章ご受章 平成27年11月3日

元河芸町議、元樹心同窓会副会長

*ホームページアドレス http://www.mie-takada-hj.ed.jp *メールアドレス jushin@mie-takada-hj.ed.jp *協力金振込口座(1口1,000円) ゆうちょ銀行 口座番号、記号 00870-1-125341 高田学苑樹心同窓会

訃報

- 竹内伸(19) 豊剛(23) 林照陽(35) 武正敏(39) 森川博(25) 草川夫(27) 田中治(27) 伊藤寛(27) 真弓進(27) 中須佑(27) 小原雅彦(28) 藤原安治(29) 長谷部哲(31) 西井克敏(31) 大谷満洋(35) 隆合義(37) 洞山正昭(42) 草川典昭(43) 瀬古真佐子(49) 竹内伸(19) 豊剛(23) 林照陽(35) 武正敏(39) 森川博(25) 草川夫(27) 田中治(27) 伊藤寛(27) 真弓進(27) 中須佑(27) 小原雅彦(28) 藤原安治(29) 長谷部哲(31) 西井克敏(31) 大谷満洋(35) 隆合義(37) 洞山正昭(42) 草川典昭(43) 瀬古真佐子(49)